

1 ワークショップの感想

【参加者】

	参加者
とても良かった	3
良かった	2
あまり良くなかった	0
まったく良くなかった	0
どちらともいえない	0
無回答	1

2 桑井亜乃選手へ一言

頑張って東京オリンピックへ参加してください。
2020年の東京オリンピックで走る、トライする桑井。さんを楽しみに応援しています。ぜひFM-JAGAにも出演してラジオでも発信してください。
オリンピックとして、応援大使して、コーチとして、会社員として、それぞれの場面で前を向いて真剣に取り組んでいる姿、感動しました。
体調崩さず、試合等で最高のパフォーマンスができるように応援しています。
どんなことがあっても応援しています。頑張ってください。
オリンピックへの強い想いをあらためて感じました。セレクションに向けてプレッシャーもあるかと思いますが、自信を持って突き進んでください！身体メンテナンス、ケガには気を配って、ベストな状態で2020を迎えてください。家族全員で応援してます。

3 オリンピアンがいることをまちづくりに生かすためにはどうすればよいか。

機会あるごとにPRをする。
何か大きなイベント等に取り入れる。
食や健康等幅広い角度からオリンピックに触れるチャンスを増やす。まずは全町民に知ってもらう。
今回のように地元にもまず顔を出して頂くこと、一緒にスポーツをしてもらうこと。
SNSの活用で知ってもらう。
イベントなどに指導者として来ていただく。
トークショーや練習メニューと一緒にやるなど子どもたちが興味のある内容で行う。
各アスリート(オリンピック)の名称をつけたロードや建物を設置して常に触れる機会を生み出す。
一言ではまとめきれない難しい問いです。「まちづくり」の視点、ターゲット等焦点化して議論しないと、果てしなく議論が続くような気がします。一応改善提案シートには記入してみました。

4 本日の感想

少し聞きにくいところがありました。
桑井選手からのオリンピックを目指してという言葉には力があり、日本代表になる方のエネルギーはすごいなと思いました。こうして生の声を聞けるのはとてもありがたい時間でした。
オリンピック選手に直接会えて質問など出来て、色々な情報を教えていただき良かったです。今までの気持ちや今後の目標、自己管理、食生活など勉強になります。
改めて幕別町の魅力や潜在能力を発見でき、仕組みづくり(オリンピックの町創生)が楽しくなりました。
前回の意見がすぐ実行されたこと(桑井さんの来幕)に驚きです。スピード感はこの企画には必須ですね。オリンピック本人がどう感じているか、当事者を交えての会議が実現できたことに感動です。オリンピックが地元を大切に、地元を愛していることの表れですね。まちがオリンピックを支え、オリンピックがまちを支えるというのは理想ではないか。

5 今後のワークショップに向けての要望

ホワイトボードの赤字がとても見づらい。
予定の時間までに終了するように。
伊藤さんから他の町や市での取組や議題もとても参考になります。色々なお話を聞かせて頂けると嬉しいです。
今回は人数が少なく、特に学生の考えが聞けなかったのが残念でしたが、新たに参加された方のまた違った立場での意見も参考になりました。私自身も何とか都合をつけて参加しています。貴重な回数での検討なので、できるだけ全員参加で実施したいものです。

【傍聴者】

1 属性

	男性	女性	計
町民	1	1	2
町議員	1		1
報道			0
町職員	3		3
町外			0
計	5	1	6

2 年齢

	男性	女性	計
10代	0	0	0
20代	1	1	2
30代	2	0	2
40代	2	0	2
50代	0	0	0
60代	0	0	0
70代以上	0	0	0

3 傍聴回数

1回目	4
2回目	0
3回目	2

4 ワークショップを知った動機(複数回答)

ホームページ	3
町SNS	2
新聞	0
知人から	1
その他	1

5 傍聴した理由

知人から聞き、どのような意見が出てののか気になったため
ワークショップの進行の仕方などを参考にしたい
桑井さんのお話を聞きたかった
伊藤さんの回しを見たくて
桑井さんの基調講演に興味があった
現役スポーツ選手を交えて、住民がどのような議論ができるか興味があったため
中学時代の先輩である桑井さんが来られると聞いたから
私自身スポーツに関わる仕事をしているため

6 ワークショップの感想

	参加者
非常に良かった	4
良かった	2
悪かった	
非常に悪かった	
どちらともいえない	
その他	

●非常に良かったの理由

桑井さんからオリンピック、アスリートとしての話が聞いて良かった。オリンピックを広めるためにドーピングや祭り、選手の名前がついた大会の開催など違う視点から考えることができた。
実際にオリンピックの桑井さんからの話が聞けたこと。
オリンピックの話を直接聞けたこと。具体策までたどり着くのは難しいが、継続して取り組んでほしいと思いました。

●良かったの理由

現役選手と直に町民が触れ合える機会は増やすべき

7 桑井亜乃選手へ一言

頑張ってください！！
町SNSへのフォローやいいねをたくさんいただき、ありがとうございます。町も桑井さんのご活躍をたくさん発信しながら応援していきます。
怪我などにご留意されながら、頑張ってください。
2020東京オリンピックを楽しみにしています。頑張ってください。
東京オリンピック見に行きます。頑張ってください。
忙しい中来てくれてありがとう。町民にとっては貴女はヒーロー！活躍を見るたびに応援する人が増えるので、これからも頑張ってください。アルカスも応援してます！
これからも頑張ってください！応援してます！

8 オリンピアンがいることをまちづくりに生かすためにはどうすればよいか。

子どもたちをオリンピック選手が普段活動している場所に連れていき、交流をしたら、もっと選手のことを知れるのかと。
町からオリンピックがいることを知ってもらって、自分でもオリンピックになれるかもという期待をもってもらう。
全てのスポーツにおいて、基礎運動能力の向上は不可欠。幼少期からのトレーニング法やメンタルトレーニングなどを最前線のものを取り入れ、どの競技でも通用するようなものが必要。
トレーニングに精通したトレーナーを小中学校に派遣できるような環境があれば最高。町で採用するなど。
関わりを増やし、町民の中での認知度を上げること。
情報の発信の仕方(スポーツに関わる食や健康など)。
町の取組みをスポーツ庁や橋本聖子さんなどに知ってもらう、メディアを活用して認知度を上げること。
元アスリートやオリンピック選手を地域おこし協力隊として採用し、スポーツをまちづくりに生かすこと(スポーツ教室だけでなく、食や遊びなど)。
すでに行われているようなオリンピックが幕別町に来てイベントや交流会に参加してくれることが重要だと思います。そのような機会を幕別町のスポーツ活動の推進やスポーツに対する町民1人1人の興味・関心の向上につながるかが課題と考えます。イベントがあることの周知やイベント後の記事をより多くの人に見てもらえると良いと思います。

9 その他意見

オリンピックのフードメニューの紹介(冊子等)やオリンピックのトレーニングメニューの作成(選手別)をし、町内のスポーツクラブ・部活動の指導者が使用する。
企業をスポーツに巻き込むことが必要(例:スポーツ休暇やスポーツ活動への支援)
スポーツにおける安全性の確保。ジュニアスポーツに対しては、親・指導者へのスポーツ傷害講習を学校教育の一部に取り入れること、学校の健康診断に運動器検診はあるが、整形外科医がスポーツ傷害のチェックもする。地域に対しては、事前のドクターチェックや当日指導員が安全性を確保しながら、整形外科的・内科的な既往を有する方でも参加できるような健康講座の開催。
本人、指導者ともに女性アスリート特有の問題に対する理解・知識の共有。男性に相談しにくいと思うので、保健室の先生も巻き込むなどの対策が必要かもしれない。
産後も運動できる環境づくり。
フードバレーマラソンのようなイベントを幕別でも開催し、それに向けて町民が運動習慣をつけるなど。
SNS講習会。すでにSNSをやっている方に対して、メリットや注意点を話すのではなく、SNSをやっていない人が参加し、アカウント作成から始めてみる。幕別町公式SNSからの情報だけでなく、オリンピックともSNSでつながりを持つるかもしれない。
スポーツ基本法やスポーツ基本計画をベースにして、今回のワークショップを進めてもいいのではないかと思います。裾野を広げるとかオリンピック育成のどちらに絞るかではなく、スポーツ界の好循環の創出に向けられる方が良いと思う。すでに好循環を生み出している貴重な地域と感じています。スポーツ基本計画に加えて、幕別町の文化や風土に即したオリジナルティをプラスできればと思っています。